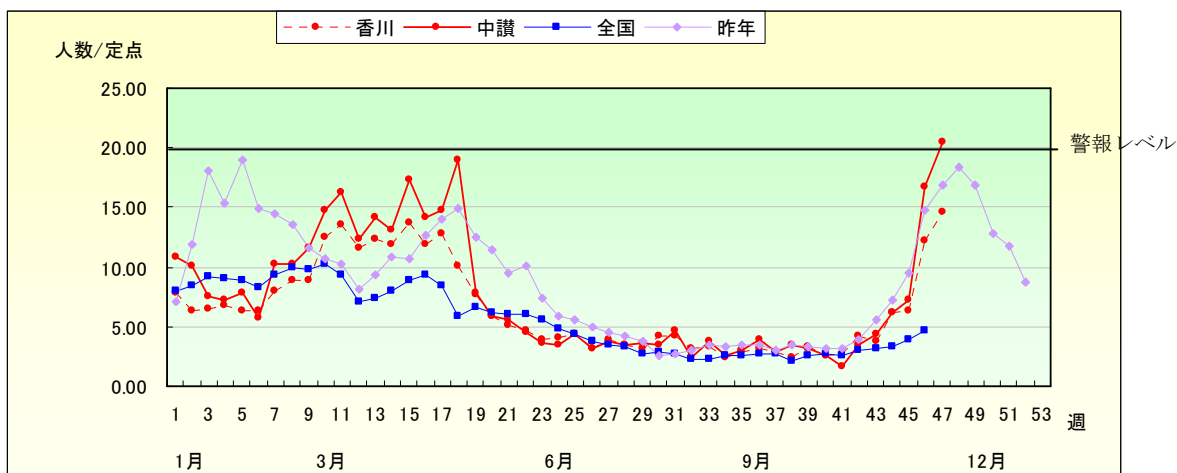


感染性胃腸炎に気をつけましょう！

【感染性胃腸炎の発生状況】

中讃管内において、23 年第 47 週(11/21～11/27)に**感染性胃腸炎が警報値に達しました！**
今後も増加していくことが考えられますので注意してください！



【感染性胃腸炎とは？】

感染性胃腸炎(ノロウイルス、ロタウイルスなど)は感染力が非常に強く、わずかにウイルスが付着しているだけで食品、人、手袋や床、ドアノブ、便器などさまざまなところから感染するおそれがあります。

【症状は？】

吐き気、おう吐、下痢、腹痛で、熱はそれほどでません。通常1～2日で症状はおさまり、後遺症もなく治ります。ただし、抵抗力が弱い高齢者や乳幼児などの場合、重症化したり、下痢によって脱水症状を起こすことがあります。

【感染経路は？】

ノロウイルスに汚染されたカキなどの二枚貝を十分加熱せずに食べたり、感染者の便や吐物が手につき、口に入ったり、乾燥して舞い上がったウイルスがほこりなどと一緒口に入ったりして感染することが多い。

予防のポイント

- 感染予防の**最も有効な対策は手洗い**です。トイレを使用した後、調理の前、食事の前には必ず手洗いをしましょう。石けんと流水で30秒よく手を洗います。
- 部屋やトイレで吐いた場合は、部屋の換気を十分に行いながら、吐物をふき取り、ふき取ったあとを次亜塩素酸ナトリウムなどで消毒します。

※ 抵抗力の弱い乳幼児や高齢者は、重症化することがありますので、症状がある方は、早めに医療機関を受診してください。